

2009年6月3日
緊急報告会：危機に立つ生物多様性
「天国に一番近い島」で今何が？
ニューカレドニア・ニッケル開発事業を事例に

融資のルールで 生物多様性は守れるか

地球・人間環境フォーラム
満田 夏花(みつた・かな)

1

世界銀行セーフガード・ポリシー

- 重要な自然生息地の著しい転換または劣化を伴うと判断される事業には、支援をしない(OP4.04パラ4)

IFCパフォーマンス・スタンダード

- 顧客は、重要な生息地では、以下の要求事項を満たさない限りいかなる事業活動も実行しない(基準6、パラ10)
 - 重要な生息地の能力に対する負の影響が予測されない場合
 - 絶滅の危機に瀕している、もしくは絶滅のおそれがあるとされる種の個体数が減少しない場合
 - いかなる小さな影響も緩和されている場合

2

HSBCのセクター別ガイドライン

- 熱帯原生林、保護価値の高い森林、重要な生息地において、著しい転換や劣化が生じる操業には融資を行わない(鉱業・金属セクター政策、エネルギーセクター・リスク政策、淡水インフラセクターガイドライン)
- 以下には、いかなる形での融資も支援も行わない(森林セクターガイドライン)
 - 重要な自然生息域において実施され、これを著しく劣化または転換する事業。保護価値の高い森林における商業伐採、CITESのAppendix Iのリストに含まれる種の伐採など
 - 上記からの購入、取引、加工を行う企業

3

国際協力銀行(JBIC)環境ガイドライン

- プロジェクトは、原則として、政府が法令等により自然保護や文化遺産保護のために特に指定した地域の外で実施されねばならない。また、このような指定地域に重大な影響を及ぼすものであってはならない。
(参考) 現在改定中の新環境ガイドラインにおいては、「重要な自然生息地または重要な森林の著しい転換または著しい劣化の回避」が盛り込まれる見込み。

4

(参考)「保護価値の高い森林」とは？

下記のいずれかの特徴を一つ以上有している。

- 世界的、地域的または国ごとにみて生物多様性の価値が集中している森林：保護地域、脅威にさらされている種および絶滅危惧種が生息している、固有種が生息している、繁殖地、越冬地、移動ルート、季節に応じた重要な生息地など
- 世界的、地域的または国ごとにみて、重要で広大なランドスケープレベルの森林(原生林など)
- 希少で、脅威にさらされているまたは危機に瀕している生態系の中にあるか、またはそれを含む森林
- 地域コミュニティの基本的ニーズを満たすために欠かせない森林
- 地域コミュニティの伝統的文化的アイデンティティに重要な森林 など

5

生息地の転換による生物多様性への影響



「生態系サービスと人類の将来—国連ミレニアムエコシステム評価」

6

ニューカレドニア・ゴロニッケル事業は、融資基準をクリアするか？

重要な自然生息地や保護価値の高い生息地の著しい転換または劣化を伴うと判断される事業には、支援をしない
(世界銀行、HSBC他)

顧客は、重要な生息地では、以下の要求事項を満たさない限り、いかなる事業活動も実行しない (IFC)

- ✓重要な生息地の能力に対する負の影響が予測されない場合
- ✓絶滅の危機に瀕している、もしくは絶滅のおそれがあるとされる種の個体数が減少しない場合
- ✓いかなる小さな影響も緩和されている場合

7

8



事業地において多く見られる「マキ」の植生タイプの一つ (Maquis ligno-herbacé)

「工場建設予定地は、植物相の豊かさと独特さによって特徴づけられる。」

維管束植物が242種確認され、そのうちの229種が固有種であった。固有種の率は94%にのぼった。」

(Goro Nickel: *Installations Classées pour la Protection de l'Environnement*)

事業地域は「重要な生息地」

事業地周辺^(注1)の植生

- 14の植生タイプ(森林6タイプ、maquis = 灌木林6タイプ含む)
- 森林およびmaquisの植生タイプは、ほとんどが90%以上の固有種^(注2)
- 14のCritically Endangered種 (CR)、10の絶滅危機種 (EN)、40の危急種 (VU) を含む70種のレッドリスト記載種がインベントリー化されている

Tableau 5 : Diversité floristique et distribution des espèces de maquis dans la zone de référence (IRD, 2003)

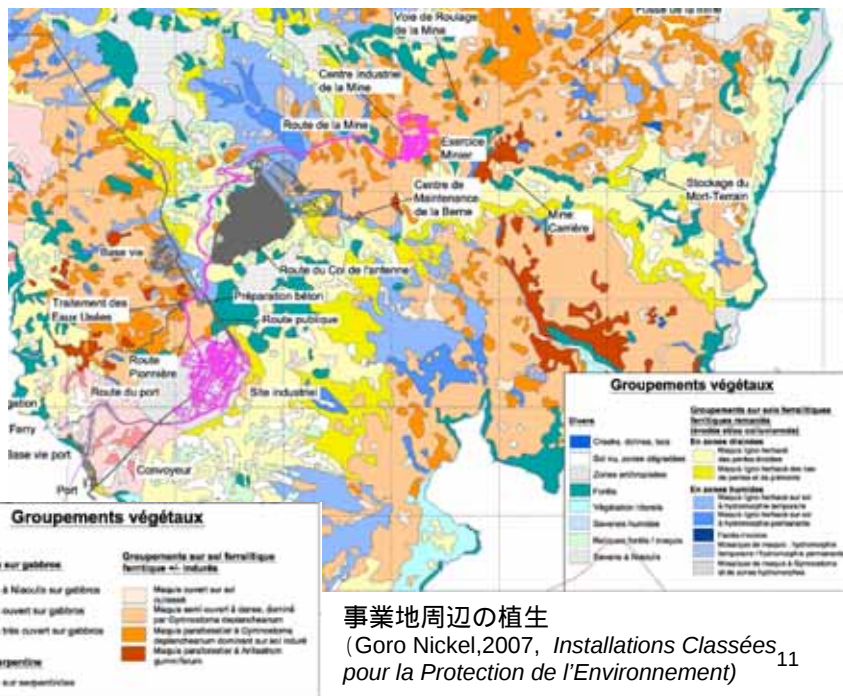
Ecotype	Surface (ha)	Occupation des sols par rapport à la surface des formations de maquis (%)	Occupation des sols par rapport à la zone de référence (%)	Nombre d'espèces inventoriées	Nombre d'espèces endémiques	Proportion d'espèces endémiques
Maquis des zones humides	9400	20	34	198	181	91%
Maquis arborescent à parashoulier	4118	9	6	206	362	97%
Maquis ligno-herbacé bien drainés	21457	45	32	132	121	90%
Maquis ouvert sur sol calcaire à densité élevée par <i>Gymnosoma</i>	10006	21	15	214	201	94%
Groupements sur gabbros	2999	6	4	88	78	89%
Maquis sur serpentines	161	0	0	88	81	91%
Total formations de maquis	48071	100	72	547	494	90%

(出典) Goro Nickel, 2007, *Installations Classées pour la Protection de l'Environnement*

注1) ニュージーランド南端 Grand Sud) 約6万ha, 調査時期は主として着工後のもの。

注2) 固有種の率が非常に高いと言われるニュージーランド全土の平均よりも、さらに高い割合を示している。

10



事業地周辺の植生

(Goro Nickel, 2007, *Installations Classées pour la Protection de l'Environnement*)

11

鳥類

- 陸域: 32種が確認、うち12種が固有種、3種がIUCN記載種(調査は2003年、2004年^注)
- 事業地周辺に鳥類のコリドー
- 海域: 周辺で繁殖しているもの25種、渡来するもの26種。うち、危急種 (VU) 5種、準絶滅危惧種1種。

海洋生態系

- プロニー湾は魚類のゆりかご
- 豊富で多様な珊瑚礁
- ウミガメ、ジュゴン、クジラ、イルカ...



Goro Nickel, 2007, *Installations Classées pour la Protection de l'Environnement*

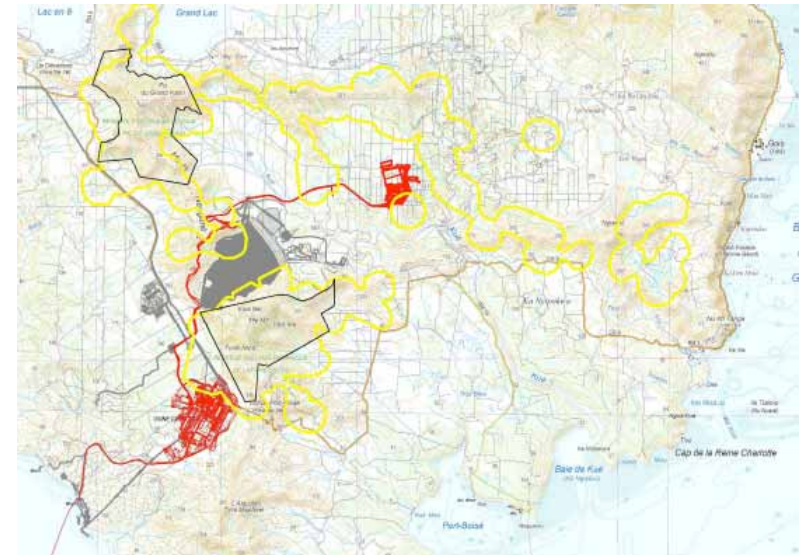
注) 着工後の調査

12



大面積にわたる剝土＝「著しい転換・劣化」
その他の直接影響・間接影響

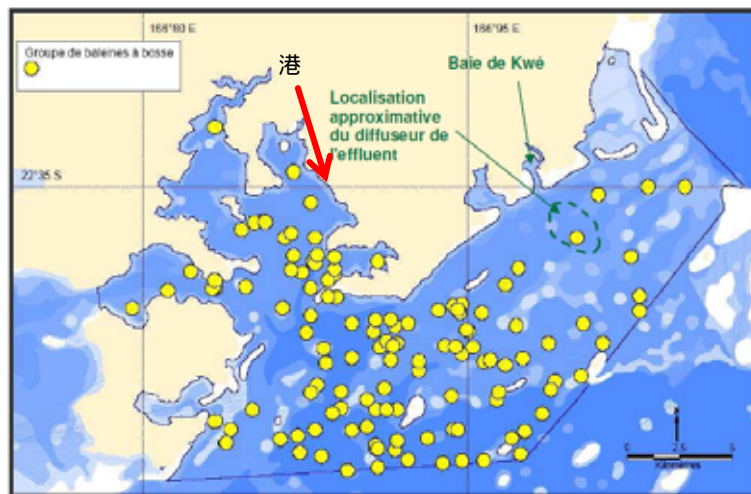
13



鳥類(陸域)のコリドー(図中の黄色く囲まれた部分)
(extrait du rapport de l'IAC de juillet 2004). (注: 着工後の調査)

14

Figure 17 Distribution spatiale des groupes de baleines à bosse recensés dans la zone du projet en 2000 et 2005 (source Opération Cétacés)



プロジェクト地域におけるザトウクジラの群れの出現箇所(2000-2005)

Goro Nickel, 2007, *Installations Classées pour la Protection de l'Environnement*

15

プロジェクトは、原則として、政府が法令等により自然保護や文化遺産保護のために特に指定した地域の外で実施されねばならない。また、このような指定地域に重大な影響を及ぼすものであってはならない。

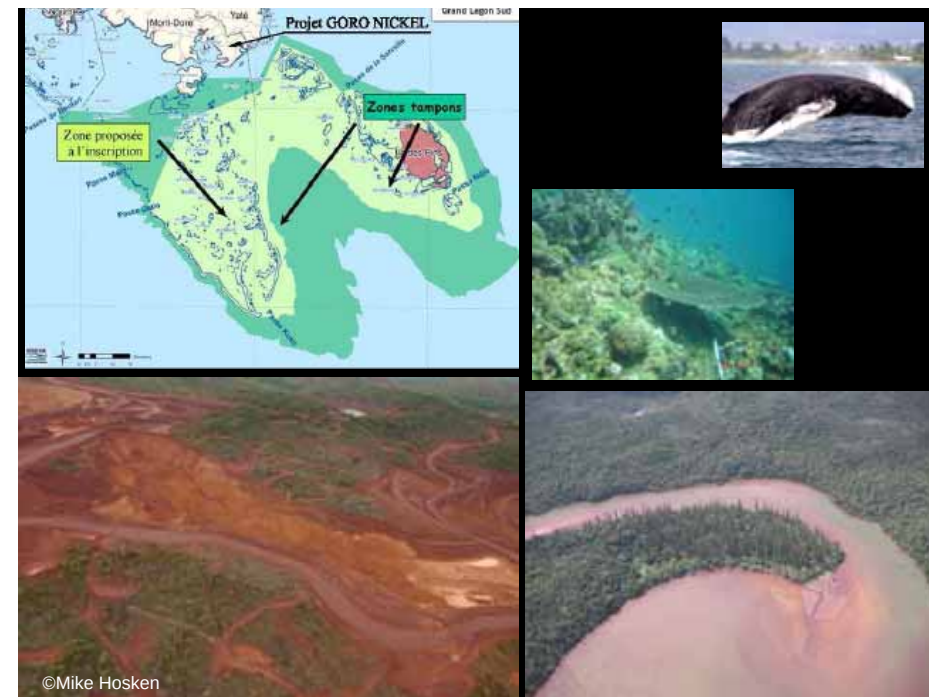
(国際協力銀行)

16



二つの植生保護区および海域の世界遺産地域への影響は不可避

17



(基本的事項)

プロジェクトを実施するにあたっては、その計画段階で、プロジェクトがもたらす環境への影響について、できる限り早期から、調査・検討を行い、これを回避・最小化するような代替案や緩和策を検討し、その結果をプロジェクト計画に反映しなければならない。

(国際協力銀行)

19

「事業の最初から、ヤテの住民は環境問題懸念持っていました。しかし、州は事業者の味方で、十分な調査がなされないうちに事業を許可しました。世界でも有数の生物多様性を誇る地域で、配慮しないまま事業が進められたのです」

(Sénat Coutumier < 先住民族議会 > との会合で。2009年4月)



20

(社会的合意)

…プロジェクト計画の代替案を検討するような早期の段階から、情報が公開された上で、地域住民等のステークホルダーとの十分な協議を経て、その結果がプロジェクト内容に反映されていることが必要である。

(国際協力銀行)

21

「事業者からの説明は、いつも事後報告でした」

「工事がはじまってから、赤土の影響で、河口における漁業ができなくなりました。それまでは川の奥まで入って魚をとっていたのですが、今は魚が減り、そういうことはなくなりました。」

(先住民族部族Ile Ouenとの会合、
2009年4月)



22

(先住民族)

…土地及び資源に関する先住民族の諸権利が尊重されるとともに、十分な情報に基づいて先住民族の合意が得られるよう努めねばならない。

(国際協力銀行)

23

「事業者と先住民族との協定が成立しようがしまいが、事業はどんどん進んでいきました。」

(Sénat Coutumier <先住民族議会>との会合)

「今が着工前だったとしたら、いろいろと情報をえているのでNoと言ったと思います。」

(先住民族部族 Ile Ouenとの会合)

「事業者との協定にサインしたのは、そうせざるを得なかったから。手足を縛られて死刑台に上るような気持ちでサインした」

(先住民族部族のSaint Louisとの会合)



融資のルールで生物多様性は 守れるか

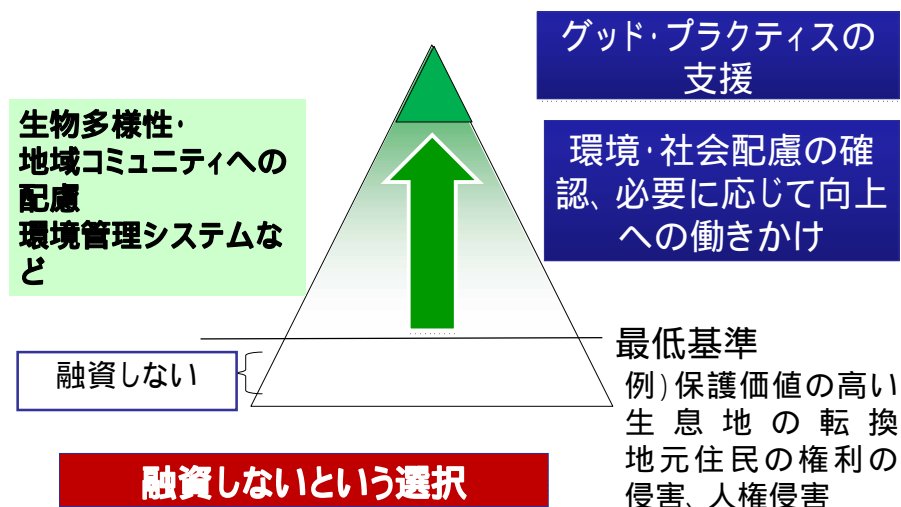
25

守れる。

- 融資者が自らの融資基準を誠実に遵守し、事業者や関係者に明確なメッセージを送り続けるならば。
- 世界中でわずかに残された「重要な生息地」「保護価値の高い生態系」を守るという強い意思を示すならば。

26

責任ある融資



一方で・・・

- 問われる関係企業の行動
- 大量消費社会の見直し
- 循環型・低消費の社会・経済・文化の確立
- 「ゾーニング」の確立
= 重要な生息地の保護戦略への組み込み。
その過程で必要とされるステークホルダーの参加

国家資源獲得戦略に生物多様性戦略を組み込むための、真剣な議論が必要

28